

ぎふの名人・達人

数学的ビーズ編み

堀部 和経さん(60)

—多治見市—

カラフルな幾何学模様



多面体、美しさ無限大

「多面体は、自然界に多く見られる幾何学図形の一つで、その美しさは無限大です。数学的ビーズ編みは、多面体の構造を再現するための一つの手段です。私は、この趣味を通じて、数学の面白さを多くの人に伝えたいと思っています。」

「数学的ビーズ編みは、多面体の構造を再現するための一つの手段です。私は、この趣味を通じて、数学の面白さを多くの人に伝えたいと思っています。」

「数学的ビーズ編みは、多面体の構造を再現するための一つの手段です。私は、この趣味を通じて、数学の面白さを多くの人に伝えたいと思っています。」

「数学的ビーズ編みは、多面体の構造を再現するための一つの手段です。私は、この趣味を通じて、数学の面白さを多くの人に伝えたいと思っています。」



記者のひとこと

「30歳で作るものなら小学生でも編めるよ」と堀部さん。実際に小学生を対象にした講座でも教えて「ビーズ編みの先生」として親しまれているそうだ。教材で買った木製の五面体でできた多面体は正12面体は一つ。種類は編み方のようだが、数学の知識が訪れている。

記者は高校時代、数学が苦手なほど嫌でも「？」が頭に浮かぶ以上から、それだけでもビーズ編みを取り出した。ホームページを制作して「一人でも多くの人に数学の面白さを伝えたい」と詳しく説明してくれる堀部さんの率に先生顔の情熱を感じた。

多面体は、自然界に多く見られる幾何学図形の一つで、その美しさは無限大です。数学的ビーズ編みは、多面体の構造を再現するための一つの手段です。私は、この趣味を通じて、数学の面白さを多くの人に伝えたいと思っています。

「数学的ビーズ編みは、多面体の構造を再現するための一つの手段です。私は、この趣味を通じて、数学の面白さを多くの人に伝えたいと思っています。」

写真提供：堀部和経さん